

大切なのは、知ることと備えること



新しい日常における
新型コロナウイルスへの感染予防対策



加賀市
KAGA CITY

老の盾

高リスク者（高齢者・基礎疾患のある人）への
感染予防指導と市医療センターとの検査連携体制の整備

重症化しやすい高リスク者（高齢者及び基礎疾患のある人）に対し、かかりつけ医と連携して感染予防に取り組むとともに、かかりつけ医と市医療センターとの検査連携体制を整備する。

【予防策の指導】

新たに新型コロナウイルス感染症予防パス（手帳形式の体温の記録や感染チェックリスト）を作成し、かかりつけ医への定期受診時に感染予防の指導とマスク等の配布を行う。

【PCR検査等の連携体制の整備】

高リスク者に対し、かかりつけ医が新型コロナウイルス感染疑いによる検査が必要と判断した場合は、市医療センターにつなぎ、必要に応じてPCR検査や抗原検査等を実施する。市医療センターではその検査結果から、かかりつけ医や保健所に情報提供する。



市医療センター



式の盾

介護サービス利用者、高齢者に対する感染予防策の周知等

高齢者世帯や要介護認定者等に対し、「新型コロナウイルス感染症の予防策」や「フレイル予防」などを重層的に周知することにより、新型コロナウイルスの感染防止と健康維持に繋げる。

【民生委員による周知】

日中独居の高齢者世帯に対し、メッセージを添えて、感染防止、熱中症及びフレイル予防のパンフレットを配布するとともに、夏場も安心して使える「ひんやりマスク」の配布を行う。

【高齢者こころまちセンター職員等による指導・教育】

高齢者こころまちセンター職員や相談支援専門員などが自宅に訪問した際や地域おたっしやサークルなどにおいて、感染防止や熱中症、フレイル予防の説明・指導を行う。



高齢者こころまちセンター職員等による丁寧な説明・指導

参の盾

高齢者及び障がい者施設へのクラスター感染予防対策

感染時の重症化リスクが高い高齢者等施設において、施設職員に対し感染予防対策についての専門家による研修を行うことで、施設内での感染を防ぐ体制を整える。

【感染予防研修会の実施】

高齢者等施設の職員を対象に、感染予防の基礎的知識について、また、ガウンテクニックの実技やゾーニング（感染者がいるエリアとの区分け）の考え方の研修会を開催し、施設内でのクラスター感染を予防する。なお、保健所の研修対象とならない地域密着型施設等を対象に実施する。

ガウン・・・耐水性のある不織布素材。長袖で体の前面をおおえる後ろ開き形式であり、通気性、透湿性があるもの。業務遂行に支障がないよう、首部及び腰部背面で留めるしめひもを有する。



感染予防研修会



高齢者等施設の職員に対する感染予防の研修会

四の盾

飲食店・旅館の感染予防の強化
(感染予防講習会の実施)

クラスターが発生する恐れのある市内の飲食店と旅館の感染予防対策を推進するため、関係者を対象に感染予防を目的とした講習会を開催し、感染拡大の防止を図る。

【感染予防講習会の開催】

「（仮称）加賀市新型コロナウイルス感染予防実行委員会」を設立し、飲食店や旅館の従業員に対して新型コロナウイルス感染症の正しい知識と感染予防策を習得するための講習会を開催する。

また、国が示す業種ごとのガイドラインの活用を促すとともに、感染予防のためのチェックリストを作成する。

【感染予防実施のPR】

上記の講習会を受講した事業者には講習会の受講済を示すステッカーを配付し、それを掲示することで、市民や観光客等に安心して利用してもらえるように支援する。

講習会



飲食店や旅館を対象とした感染予防の講習会

五の盾

高齢者・障がい者施設の緊急時相互応援協力金

新型コロナウイルス感染症が発生した高齢者施設・障がい者施設に、応援職員として他の法人から介護職員や看護師等を派遣した際に、協力金等を交付する。

【応援協力金・慰労金の交付】

高齢者施設・障がい者施設において、新型コロナウイルス感染症が発生した際に、感染拡大を防止するため、法人間による協力・連携体制を整える。他の法人に職員を派遣した場合、法人に協力金5万円、派遣職員には慰労金5千円/日を支給する。

【事業者間応援協定の締結】

新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめとした緊急時に、関連事業所間で相互支援が図られるよう、市と加賀市介護サービス事業者協議会等による事業者間応援協定の締結を進める。



緊急時における
高齢者・障がい者施設の連携

六の盾

高リスク者（高齢者・基礎疾患のある人）の健康づくりの促進・免疫力向上による重症化の予防

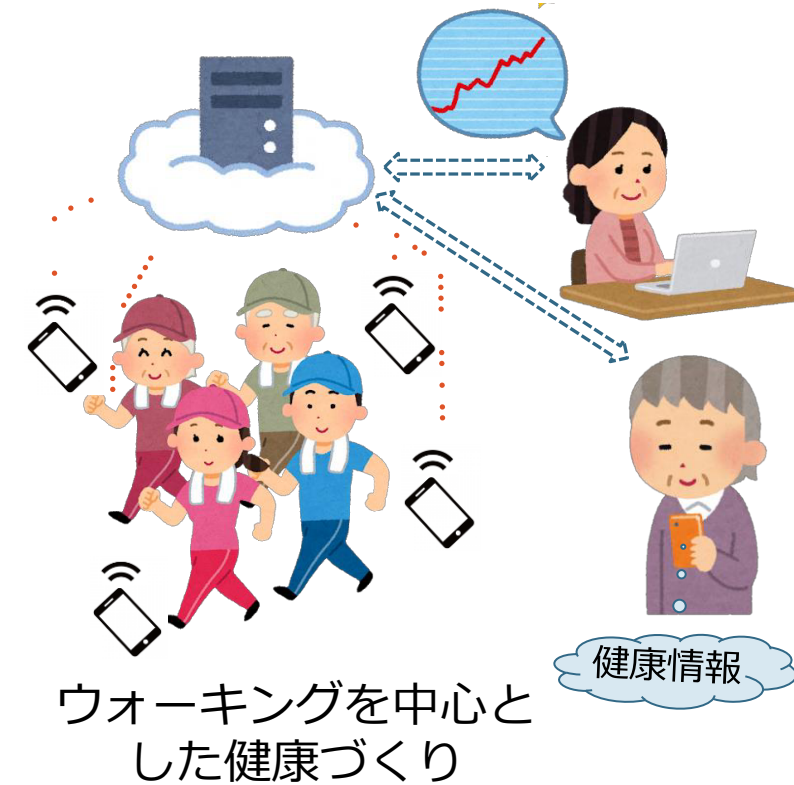
高齢者や基礎疾患のある新型コロナウイルス感染症の高リスク者を中心に、市民全体でウォーキングを中心とした健康づくりに積極的に取り組むことで、免疫力向上を図り、疾病予防・重症化予防に繋げる。

【タニタアプリの活用によるウォーキングの促進】

（株）タニタによるクラウドの健康管理ウェブサービスを活用し、自身の歩数データ等の可視化や、最新の健康情報を提供し、ウォーキング等の健康づくりによる免疫力向上を促進する。

【高リスク者への動機づけ】

高リスク者を対象に、かかりつけ医からアプリを活用したウォーキングを促す。その動機づけとして、1日あたりの平均が6,000歩以上の歩数継続者には、衛生用品購入支援費として月500円を支給する。



七の盾

避難所等や公共施設の感染予防対策の充実

避難所等や市医療センターにおける感染予防品の備蓄や設備を充実するとともに、旅館組合と連携した避難所開設の体制を整備する。

【避難所等の感染防止用品の備蓄等】

避難所や高齢者施設等で使用する、飛沫感染防止用パーティションやアクリル板、ガウンやフェイスシールド等の感染予防品の備蓄を行う。

また、市医療センター発熱外来における、空調設備や積雪対応備品を充実する。

【旅館組合と連携した避難所開設の体制整備】

災害発生時の避難所におけるクラスター感染の発生防止（3密の回避）を図るため、市内の3温泉の旅館組合とも連携し、安全で安心な避難所の開設体制を整える。



パーティション等により、避難所での感染拡大を防止

【公共施設感染拡大予防マニュアルの策定】

公共施設における利用者と職員の安全を確保するため、各施設の管理者が行う感染予防の基本的な事項について示す。

八の盾

先端テクノロジーを活用した感染予防対策

市医療センターにおいて、先端テクノロジーを活用して自動的に来院者の体温検知を行うとともに、待合スペース等を安全な紫外線で除菌することにより院内の感染防止を図る。また、公共施設の混雑状況を検知システムで可視化することで、利用者の3密回避を促す。

【自動体温検知等システムの導入】

市医療センターの入り口に、自動体温検知と併せ、マスクを着けていない人に着用を促す、顔認証システムを活用した装置を導入し、発熱者やウイルスの院内への入り込みを未然に防ぐとともに、今後のスマートホスピタルの実現につなげる。

【最先端のウイルス除菌設備の導入】

市医療センターの待合スペース等に、人体へ悪影響を及ぼさない紫外線特定波長によって空間や器物表面にあるウイルスを不活化（感染力や毒性の消失）させる最先端の設備を導入し、感染予防を図る。

【AIによる混雑検知システムの導入】

公共施設の混雑状況をカメラによってリアルタイムで検知し、これをスマートフォンやパソコンで確認できるシステムを導入し、3密回避を可能にする。

(設置予定施設)

- ・ 3温泉の総湯の入口
- ・ ここにこパークの入口
- ・ 市医療センターの待合室等

スマホで混雑状況を把握して3密回避

